

## 資料3. 委員ヒアリングのとりまとめ

### (1) 基本構想について

#### ①「テーマ」について

番号	意見	対応
1	・住民の意欲を創出する、積極的に現状を打破する活動を醸成できるような要素が必要ではないか。 ・そのためにも町民が主体となって作り出す“宝達志水町らしい新しい文化の創出”が必要ではないか。 (具体案については「番号 43、44」に記載)	<p>住民参画の視点を 含ませ、危機的状況 から脱するための 住民の意欲や町の 魅力の創出感を感 じさせる</p> <p>テーマ <b>『育てよ！ 町の宝』</b> ～未来を担う若者が育ち、みんなが誇れる町づくり～</p> <p>サブテーマ ①町の宝を育てる ②町の良さを伸ばす ③時代の変化や危機に対応する</p> <p>〔変更の趣旨〕 町の危機感の根本である人口減少に対し、将来を担う多様な人材を“町の総力を挙げて育成”することを通じて全ての人々が活躍できるまちづくりを目指します。 「町の宝」とは、本町の自然や文化、そしてこれを継承し発展させていく町民のことで、住民参画により、地域のコミュニティや活力が維持され、持続的な町の発展を目指します。</p>
2	・住民の“直観（危機感）”にこたえられていないように感じる。その場しのぎの計画とならないようすること。	
3	・シンボル性に乏しく、町民参画の視点などに欠けている。	
4	・町民が参加しまちづくりをしていく感じがしない。例えば「住みたい町 住んで誇れるまちづくり」	
5	・豊かな地域資源を活かし、町民の交流により魅力を高め、健康でいつまでも住み続けられるまち「誇りをもって」	
6	・重点分野を絞り、以下をテーマとしてはどうか。 「若者と子育て世代が魅力を実感する安心生活のあるまち」	
7	・子どもたちが将来も住み続けることが優先すべき課題である。	
8	・項目を絞り“住みやすいまちづくり”に注力してはどうか。若者世代が結婚して定住してもらえることを考える必要がある。	
9	・現テーマについて、持続可能性の観点からよいと考える。 ・“活力と交流（サブテーマ③）”が最大の課題なので、絞るのはどうか。	
10	・話題を3テーマ“若者の定住”“老人が生き生き暮らすには”“大自然を活かしたライフスタイル”に絞ってはどうか。	
11	・金沢市やかほく市に転出する若者にも魅力があるまちにしてはどうか。	
12	・テーマの方向性はよいが、審議会の意見を踏まえると、 「みんなでつくる いつまでも住み続けたいまち 宝達志水」として町の意味を示してはどうか。 ・3つのサブテーマについては、主体をはっきりさせるためにも“子ども”“若者”“高齢者”ごとに定めてはどうか。例えば、 ①子どもが誇りと愛着をもてるまちづくり ②若者がやりがいを持って暮らすまちづくり ③高齢者が生涯現役で活躍できるまちづくり 等とすれば、グループ討論もしやすいのでは。	
13	・テーマの方向性はよい。教育についてもっと取り組んだらよい。	

②「まちづくりの基本方針」や「施策の大綱」の方針・項目について

番号	意見	対応
14	・子どもの教育の視点として“産業や地域力を磨く”の視点を加えるべきでは。	→“地域学習”や“郷土愛の醸成”といった視点を施策の大綱の大テーマに加えます。
15	・施策の大綱の項目が多すぎるのではないかと。総花的で危機感を感じない。3つぐらいに絞ればどうか。	→総合計画は町で実施する各施策の方針を網羅的に示すものです。 基本計画ではご指摘の視点を参考にして重点項目を設定し、ワーキングでの意見を踏まえ、人口減少対策などに注力する方針を示します。
16	・人口減少対策に集中し、明確な方針を示してはどうか。	
17	・以下の方針が考えられる。 ○住民参加による、本町の誇りである豊かな自然・歴史・文化と産業（農業等）を活かすまちづくり ○地域及び年代間の交流を通じて、住民の豊かな地域資源の魅力を高めるまちづくり ○住民が支え合い、子育てから老後まで健康で活力を高めるまちづくり	

③その他について

番号	意見	対応
18	・本文に次の文を謳う必要がある。 「今、本町の現状は危機的な状況にあり、今後住民の参加と主体的な行動でしか、この危機的状況から脱しえない」	→ご指摘の視点を参考にし、本文中に反映させていただきます。

(2) 基本計画について

※第2回審議会で提示した施策の大綱の順で整理しています。

①生活環境の整備

番号	意見	対応
19	・住宅地を斡旋してはどうか。(自然災害が少ない点が魅力)	→ワーキングにおいて、主要テーマとして対応策を議論させていただきます。 →住環境の確保と提供については、関連課に確認の上、ワーキングで情報提供いたします。 →既存集落からの移転については、空き家の発生や既存インフラの維持など新たな課題が発生するため、慎重に判断する必要があります。 →新しい住民と既存の住民の交流などといった新たな課題について、ワーキングで意見を確認し、担当課と施策を検討いたします。 →既存の空き家バンク制度の周知や地域との連携により、利用者の増加を検討します。
20	・若者への土地の無償提供や補助も考えられるが、財政状況などを考慮する必要がある。	
21	・大規模な住宅地などを整備して、集落から移住してもらってはどうか。	
22	・町営住宅を充実させてはどうか。	
23	・地域の若い人が定住することで、地域交流が活性化する。	
24	・空き家バンク制度の活用が必要。	
25	・区長などを通じ、空き家を積極的に町に登録し、貸し出してはどうか。	
26	・かほく市のような手厚い定住促進策を打ち出すためにも、高齢者が自立して健康でいられ、医療費を低減させるような循環が必要。まちづくりへの貢献は高齢者の生きがいにもつながるだろう。	
27	・自然環境の良さと金沢までの近接性をアピールしてはどうか。	

## ②都市基盤の整備

番号	意見	対応
28	・工業団地などを整備するなど、企業が来やすい環境づくりが必要であろう。	→ワーキングにおいて、主要テーマとして対応策を議論させていただきます。 →なお、町内の主要企業の状況については、ワーキングで情報提供いたします。
29	・企業誘致の担当課を作り、企業に対し積極的にアプローチしてはどうか。	
30	・パソコンとネットワークがあればどこでも仕事ができる時代なので、ケーブルテレビの配線を活かし、町内に広域的なWi-Fi網を形成するなど、都会の企業へのPRポイントとしては。	
31	・インターネット接続環境を向上させ、若者にもパソコンやスマートフォンが使いやすいまちと認知されるようにしてはどうか。	
32	・無線ネットワークを活かした高齢者の見守りや医療サービスの向上。	

## ③教育・文化・スポーツの充実

番号	意見	対応
33	・子どもの教育の視点として“産業や地域力を磨く”の視点を加えるべきでは。	→「地域全体での特色ある教育」という項目を追加いたします。
34	・若者はお金や物質重視教育を受けていると、他市に住む。若者に「わが町に住みたい教育」を徹底的に教授することが肝要。出来ることを着実に「バランス感覚のある人づくり、町づくり」を目指したらよい。人は、安全安心を感じる場所にポジションを取るため、これまでに若者にどのような内容の教育を行ってきたかが問われていると感じる。	→ワーキングにおいて、主要テーマとして対応策を議論させていただきます。
35	・町への愛着を高め、食育効果を上げている学校給食などの教育企画を充実してはどうか。	
36	・宝浪漫マラソンへの出場やボランティア参加は周辺市町ではできないことである。既に多くの大学生ボランティアも参加している。	
37	・インターネットリテラシーを丁寧に指導し、高い倫理観を有する人間形成につなげる。	

## ⑤産業の振興

番号	意見	対応
38	・地域振興として、イベントを活用しつつ、農産品のブランド化や新たなブランド品の開発、企業誘致を行う。	→ワーキングにおいて、主要テーマとして対応策を議論させていただきます。

⑥地域力を磨くまちづくりの推進（1/2）

番号	意見	対応
39	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域力を磨くには、国際交流が重要。域内企業が欲しがら海外人材の確保が大切。</li> </ul>	<p>→ワーキングにおいて、主要テーマとして対応策を議論させていただきます。</p> <p>→文化活動の充実に向け、キーパーソンとなる町内や町にゆかりのある人材の発掘と活用を検討いたします。</p>
40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住を見据えて、能登青年交流の家と連携して、都会の小中高生を積極的に受け入れてはどうか。コンテンツは沢山あり、子どもたちが「宝達志水に住みたい」と親に言わせることを目指してはどうか。（宝達山の登山、アサギマダラの観察、千里浜サイクリング、オムライス関連、名産品の農業体験）</li> </ul>	
41	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの視点（ルビーロマンやオムライスに着目）は金沢の人からみた町の印象と似ているだろう。</li> </ul>	
42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町在住で金沢や名古屋などで菓子店を営んでいる外国人がいる。多様な人材がいる町である。また、千里浜を眺めながらこのお菓子を食べてみたい。</li> </ul>	
43	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業の開発が考えられる。             <ol style="list-style-type: none"> <li>①通過型地域の新発想…観光地の狭間にある地域での活性化導入、しかも安価で町民が参加できる</li> <li>②地産地消の地域づくり…発信力ある農産物など、まずは地元が大いに消費することから</li> <li>③空き家活用の文化事業…住居として空き家だけでなく広範囲</li> </ol> </li> <li>・観光事業としての「花街道」はどうか。ポイントは、             <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光通過型地域としての初期的展開（目立つこと）</li> <li>②四季を通じてどの街道にも鮮やかな色彩の「花」を植える</li> <li>③街道沿いの誰でも参加できる「町中が花」を創り出す</li> <li>④観光地へ向かうバスなどに「通過・車窓」でもいいから注目してもらえる町となる</li> <li>⑤街全体としてのシンボルができることで「ひとに言える町」となる                 <ul style="list-style-type: none"> <li>→町外、県外でも「宝達志水町はこんなところ」と言えるようになる</li> </ul> </li> <li>⑥通過だけでも勿体ないので「昼食箇所」「地場産業の立寄所」がほしくなる                 <ul style="list-style-type: none"> <li>→地産地消の「市場」ができるようになる</li> </ul> </li> <li>⑦外貨（町外のお金）が町に落ち、増収となる</li> <li>⑧小さいが、雇用が発生する</li> </ol> </li> </ul> <p>〔参考〕観光事業へと踏み出せない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→観光地の狭間で通過地点にすぎないという見方</li> <li>→旅行代理店などの「立寄」地点（昼食箇所等）にも対象外</li> <li>→交通網での不利</li> <li>→その他人口流出への危機感の欠如など</li> </ul>	

⑥地域力を磨くまちづくりの推進（2/2）

番号	意見	対応
44	<p>・文化事業の新設（他地域からも参加できる公開型文化事業）が考えられる。 （※学校教育や生涯学習ばかりでなく、公開型の“文化創出”を取り組む） ポイントは、「空き家対策」「将来人材の育成」「成功事例の多い文化事業での発信」</p> <p>①成功事例からの戦略画定 →近隣では福井県鯖江市河和田、熊本県葦北郡津奈木町など他にない展開（空き家活用など） →ほかにも田舎町でのトリエンナーレ（現代美術）など</p> <p>②全国の公募できるサイズの企画創出</p> <p>③学校教育にはない「まなびの場面」</p> <p>④スポーツや学際的な講座でも外部から人材がやってきて、ともに学べる場所ができると、子どもたちの「誇り」となる</p> <p>⑤将来に残る人材を創り出すためには、やや大振りのところざしが必要</p> <p>⑥大学生などがやってくる「公開講座」は伝播しやすい</p> <p>〔参考〕新しい文化事業を創りだせない理由 →工場誘致などの不足からくる雇用の不確保 →若者の地域離れなどからくる基本的な人材の不足 →文化関係者は居るがそれを広範に展開する場所の不足</p>	※全頁と同様

⑦健全な行財政改革の推進

番号	意見	対応
45	・コンビニでの住民票の発行などを積極的に活用・周知し、行政業務を効率化してはどうか。	→行政手続の簡素化について、手続き項目の増加や周知を進めていきます。
46	・行政企画業務は過剰であり、財政状況を考慮して事業を仕訳けた方がよい。	→ご意見について、参考にさせていただきます。

**→以上を踏まえ、施策の大綱を見直します。**

### (3) その他全般について

#### ①総合計画の全体について

番号	意見	対応
47	・恵まれた自然をどのように地域活性化や経済成長に生かすのか問われている。	→(2)で挙げた項目を実施し、これらの課題の解決を進めていきます。
48	・具体的な増収案や地域密着の町民意識醸成につながる試案が必要。	
49	・町民参加の視点が欠けている。	→基本計画の主要施策の検討の際に、実施主体を整理します。
50	・行政だけで計画を進めていくのは難しい状況である。 ・地域住民と計画を協働で進める基本的な規定が本町にはない。住民がまちづくりに興味がない原因も一つでもある。	
51	・枠組みにとらわれず、町民に分かりやすい斬新な計画にするべき。先進自治体の計画を参考にするとよい。(滝沢市、藤沢市、奈義町、中能登町)	→事例を確認し、参考にさせていただきます。
52	・「SDGs 未来都市」にチャレンジしてはどうか。“誰一人取り残さない”丁寧なまちづくりである。	→適宜、SDGsの視点を参考にさせていただきます。
53	①：若手(30代中心)10名+αの「構想隊」を →「危機管理」「人材育成」「集客」「広報」の人材からなる実働部隊を作る。 →「これまでないもの」を先駆け、先行事例に似たものがあったとしても、広大なものに ②：主導する人材に「権限」の幅をもたせる →会合から出てくる主導者のオブザーバーを町の主役が、実行するに当って、委任できる体制 ③：危機感の共有 →データを駆使し、危機的状況をベースに →とえ現状満足でもそれでは動かない ④：「国から支援を受けることができるもの」「世界のどこよりも先駆けて実践できること」 「文化であること・創り出すこと」	→今後の町役場内外のまちづくり活動の際に、視点を参考とさせていただきます。

### ②第一次総合計画の振り返りについて

番号	意見	対応
54	・現状の評価や見直しが必要。	→基本計画検討時は、各課が第一次総合計画で実施した施策の評価を行います。
55	・将来像が絵に描いた餅にならないよう、第一次総合計画を総括し、「危機感」をベースにした現状認識をする。	
56	・第一次総合計画の反省が必要である。	
57	・町長や町職員が統計データを見て議論しているのか。データブックを有効活用しているのか。	

### ③審議会の進め方について

番号	意見	対応
58	・会の進め方について、委員で十分に議論し、子どもたちの夏期セミナーなどを経て要点を掘り下げる。それらを文章化し、事務局が精査、予算を付けてはどうか。	→審議会に、テーマ毎に議論するワーキングを加え、各課題を深く議論できる体制とします。 →ワーキングには新たに町民に参加いただき、幅広い意見を集めます。
59	・審議会の果たす役割を明確にして欲しい。	
60	・細かい具体的な施策については、町民を交えて議論してはどうか。	